

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-1-055  
補助事業名 平成25年度 国際交流の推進活動補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 貿易研修センター

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

##### シンポジウム

国際情勢シンポジウムを通じて国際交流の元となる異文化理解を促進する。シンポジウムに参加し、国際情勢への理解を深めてもらい、今後より積極的に国際交流に携わってもらう契機とする。また、すでに国際交流に高い関心がある参加者については、最新の国際情勢や少ない分野の情報を提供し、さらなる国際交流の推進へつなげる。

##### アジアとの交流促進事業

ミャンマーは、民主化の進展に伴い、新しい生産拠点や市場として注目を浴びているが、長年にわたる経済制裁の影響などにより日本との経済関係は緊密とは言えない。日本の対ミャンマー投資は、同国への主要投資国である中国やタイ、韓国に比して低い水準にとどまっており、人的交流も幅広さに欠けている。このため、ミャンマー経済界の若手人材を招聘し、日本についての理解を深めてもらうと同時に、日本の様々な分野の人々にミャンマーの状況を伝えてもらい、両国の交流活発化、人脈開拓の一助とすることを目的とする。

#### (2) 実施内容

<http://www.iist.or.jp/jka/> (URL)

##### シンポジウム

当センターで実施している大学教授、研究機関専門家、企業幹部などから構成される「中央ユーラシア調査会」「アジア研究会」「国際情勢研究会」の研究成果を広く多くの人に伝えるためシンポジウムを開催した。各テーマで、変動著しい国際情勢について講師陣が意見を述べ、その後登壇者間で討議し、また出席者との質疑応答を行った。各シンポジウム1回ずつ、合計3回を都内で開催した。また、本年度より地方でも国際情勢に関するシンポジウム開催を始めた。詳細は以下の通り。

ア. IIST国際情勢シンポジウム 2013年12月10日（火）

演題：『日本外交の課題— アメリカ・中国・東南アジアとの関係で』

開催地：都内

講師：北岡 伸一 氏（国際大学 学長/政策研究大学院大学 教授）

久保 文明 氏（東京大学大学院 法学政治学研究科 教授）

高原 明生 氏（東京大学大学院 法学政治学研究科 教授）

佐藤 考一氏（桜美林大学リベラルアーツ学群 教授）



イ. IIST・中央ユーラシア調査会 公開シンポジウム 2013年12月18日（水）

演題：『中央アジアの地域発展と中露の新戦略』

開催地：都内

講師：袴田 茂樹 氏（新潟県立大学教授/IIST・中央ユーラシア調査会 座長）

田中 哲二 氏（中央アジア・コーカサス研究所長）

清水 学 氏（ユーラシア・コンサルタント 代表取締役）

柳沢 香枝 氏（国際協力機構 東・中央アジア部長）

竹原 美佳 氏（石油天然ガス・金属鉱物資源機構 調査部

エネルギー資源調査課 主任研究員）



ウ. IISTアジア研究会 公開シンポジウム 2014年2月7日（金）

演題：『変貌するアジア（主要国の新しい動き）～2015年アセアン統合及び主要国指導者交代を見据えて～』

講師：原 洋之介 氏（政策研究大学院大学 特別教授）

佐藤 百合 氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所 地域研究センター長）

三重野 文晴 氏（京都大学 東南アジア研究所 准教授）

瀬口 清之 氏（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）

平賀 富一 氏（ニッセイ基礎研究所 上席研究員 アジア部長）

エ. IIST国際情勢シンポジウム 2014年2月13日（木）

演題：「日中韓関係の現状と課題～環黄海経済圏の交流発展に向けて」

開催地：九州（福岡）

主催：（一財）貿易研修センター、九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、  
（一財）九州経済連合会

講師：飯田 圭哉 氏（経済産業省 通商政策局 通商交渉官）

高原 明生 氏（東京大学大学院 法学政治学研究科教授）

佐藤 考一 氏（桜美林大学リベラルアーツ学群 教授）

平岩 俊司 氏（関西学院大学国際学部教授）

アジアとの交流促進事業

ミャンマー経済界の若手幹部候補や若手経営者を2013年12月2日（月）より7日（土）までの約1週間、東京、名古屋、京都に招聘した。参加者は、ミャンマーと関係の深い機関・企業や日本を代表するリーダー企業等を訪問し、日本と同国との経済関係、高品質な商品やサービスを生み出す日本の技術や企業文化、日本市場の特徴などについての理解を深めた。また、これらの背景にある、日本の歴史



や文化についても理解を深めた。

## 2 予想される事業実施効果

### シンポジウム

シンポジウム参加者は昨年度より増加している他、現役の企業関係者や学生の参加者も増加傾向であり、シンポジウムの評価が広く浸透し、また多くの分野の一般の方々ニーズに応えていることが伺える。また、本年度から地方（九州）でのシンポジウム開催も実施し、高い評価を受けた。地方では国際情勢に関するシンポジウムがいまだ少ないということもあり、今後より多くの方々に国際情勢について理解を深めて頂き、経済交流の円滑な促進や対外経済活動などに貢献することとする。

### アジアとの交流促進事業

本事業は、新規事業として平成25年度に開始した。ヤンゴン日本商工会議所（JCCY）およびミャンマー商工会議所連合会（UMFCCI）の協力を取り付けることができ、優れた参加者を選ぶことができた。参加者はいずれも将来的にミャンマーと我が国の交流緊密化に寄与することが期待される人物で、参加後のアンケートでも、今回の事業を通じて理解を深めた日本のビジネスや文化等についての知見を、今後の業務や交流に活かしていきたいとコメントが多くあった。26年2月には、本事業の成果を発表する報告会をミャンマーで開催し、参加者の派遣元やUMFCCI関係者から、本事業の意義が高く評価された。

## 3 本事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

IIST・中央ユーラシア調査会 報告書

IISTアジア研究会 報告書

IIST国際情勢研究会 報告書

（下記のシンポジウム配布資料も印刷）

IIST・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム配布資料

IISTアジア研究会シンポジウム配布資料

※「国際情勢」のみ配布資料は作成せず。

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般財団法人 貿易研修センター

住所：105-0001

東京都港区虎ノ門一丁目1番20号 虎ノ門実業会館2階

代表者名：会長 塚本 弘（ツカモト ヒロシ）

担当部署：総務・企画調査広報（ソウムキカクコウホウ）

担当者名：豊山 朗子（トヨヤマ アキコ）

電話番号：03-3503-6621

F A X：03-3501-0550

E-mail：[toyoyama@iist.or.jp](mailto:toyoyama@iist.or.jp)

U R L：<http://www.iist.or.jp/>